

おわりに

令和2年度は障害者就労支援事業を運営する私たちにとって散々な年でありました。ほとんどの事業所は新型コロナウイルス感染拡大によって事業活動が停滞し、売上低下を余儀なくされたと思います。人が集まるイベントの中止が相次いだことで、自主製品を販売する場所もなくなりました。複数施設が集まったバザーも実施できず、毎年各県で順番に開催されてきた全国ナイスハートバザール（国庫補助事業：令和2年度は奈良県、徳島県の開催予定）も、令和2年度はすべて中止となりました。あらゆる動きが止められてしまったので、今後の事業展開に不安を抱いた関係者は多いかもしれません。

そんな中、会員の皆様に少しでも前向きな事業活動のヒントを提示できないかと、全国社会就労センター協議会・事業振興委員会では考えました。コロナ禍の今だからこそ、私たちはもう一度原点に立ち返る必要がある——そんな考えで編集されたのが、本書『ナイスハートバザール成功のためのヒント ～全国の好事例とアイデア～』というわけです。ナイスハートバザールをタイトルに使っているものの、施設全体の営業活動の指針となるような内容をめざしました。

第1部「全国のナイスハートバザール事例集」は、直近に開催された全国ナイスハートバザールを中心とした好事例を紹介したものです。文章や数値による活動報告だけに留まらず、写真や販促ツールなどを具体的に提示することにより、優れた点がわかりやすく伝わるように工夫しています。

第2部「ナイスハートバザールを成功させるためのアイデア集」では、イベントをより活性化させるためのヒントをさまざまな観点から取り上げました。ここに書かれている内容はナイスハートバザールのアイデア集であると同時に、セルブの事業活動の原点だと考えています。

巻末の実験ルポにおいても、「私たちが製品を売るときに、何をキーワードにするべきなのか？」が、超一流の実演販売士からの提言として語られています。ぜひ多くの皆様にお読みいただき、関係者による議論を深めていただけると幸いです。

最後になりますが、編集全般にご指導いただきましたKプランニングの戸原一男様、実証実験にご協力いただきました株式会社コパ・コーポレーションの中島省吾様には、心より厚くお礼申しあげます。また、事務局、事業振興委員会の皆様のご尽力により、今後の研修会等にも活用できる素晴らしい冊子が出来あがりましたことにも感謝申しあげ、結びとさせていただきます。

全国社会就労センター協議会・事業振興委員会
委員長 三橋一巳